



## 2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年2月10日

上場会社名 リソルホールディングス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 5261 URL <https://www.resol.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大澤 勝  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 及川 毅雄 TEL 03-3344-8861  
 四半期報告書提出予定日 2023年2月14日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第3四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	17,545	59.7	954	—	890	—	508	—
2022年3月期第3四半期	10,983	△33.0	△1,207	—	△1,071	—	△1,005	—

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 505百万円 (—%) 2022年3月期第3四半期 △989百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	91.61	—
2022年3月期第3四半期	△181.00	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第3四半期	38,382	13,908	35.7	2,464.50
2022年3月期	39,056	13,680	34.5	2,422.66

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 13,691百万円 2022年3月期 13,457百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	50.00	50.00
2023年3月期	—	0.00	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	—	—	50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 有

2023年3月期の配当予想については、本日公表いたしました「2023年3月期通期連結業績予想および配当予想に関するお知らせ」をご参照ください。

### 3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,000	5.3	750	9.3	600	△23.6	850	79.3	153.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

2023年3月期の業績予想については、本日公表いたしました「2023年3月期通期連結業績予想および配当予想に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期3Q	5,564,200株	2022年3月期	5,564,200株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	8,820株	2022年3月期	9,372株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期3Q	5,555,159株	2022年3月期3Q	5,554,680株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来性に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(追加情報) .....	8
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの感染拡大抑制と社会経済活動の両立が図られるようになり、景気は緩やかな持ち直しの動きが見られます。国際情勢の不安定化による、エネルギー・原材料等のコスト高騰や急激な為替変動等、先行き不透明な状況が続くものの、人流の回復やインバウンド需要の増加傾向等、当社グループを取り巻く環境にも回復の兆しが見えてきました。

このような経営環境のもと、急速に変化するマーケットに対応した戦略で既存事業の成長を図るとともに、密を避けた『疎』を新たな価値観とした新規事業の活動を加速させました。特に、ゴルフ場でのプライベート空間と開放感の両立が図れる戸建てスタイルの“フェアウェイフロントヴィラ事業”、1泊から長期滞在まで多目的に楽しめる貸別荘の“リソルステイ事業”、脱炭素ニーズを見据えた新たな“再生エネルギー事業”について積極的に取り組みました。同時に、グループの価値基準である「あなたのオフを、もっとスマイルに。」と長期方針である3つの「やさしい」の実践を徹底し、各事業においてサービス体制を強化してお客様の満足度向上を図りました。

ホテル運営事業では、全国旅行支援・インバウンド解禁に伴う販促企画に注力し、業績は順調に推移しました。また、女性・観光等をテーマに品質・サービスを重視した企画・販売の強化を図り、“ホテルリソル”の強みを活かしたブランド向上策の一つとして、お客様一人一人のライフスタイルやステージに応じて美味しく賢く食べる“Eatwell Breakfast”の提供を開始しました。さらに、「ホテルリソルステイ秋葉原」(2023年春オープン予定)の開業準備を進めました。新規事業の“リソルステイ事業”では、貸別荘ニーズの高まりを背景に外部受託物件の拡大に注力し、「スイートヴィラ」の新規開業を積極的に進めました。

ゴルフ運営事業では、需要に合わせてプレー単価を変動させるシステムの導入により売上が向上し、全国旅行支援や観光需要の増加により宿泊施設付コースの来場者数も好調に推移しました。また、ゴルフ場でのプライベート感と開放感の両立が図れる戸建てスタイルの“フェアウェイフロントヴィラ事業”を拡大し、「瀬戸内ゴルフリゾート」のヴィラ宿泊プランの販売を開始しました。さらに、東急不動産から譲り受けた4ゴルフ場の開業準備を進めました。

リソルの森(CCRC)事業では、ゴルフ部門において、コース品質への評価によるプレー単価上昇と会員権販売の好調が売上向上へとつながりました。宿泊部門においては、アウトドアリゾート需要を見据えたグランピングエリアが高単価・高稼働率となりました。さらに、施設のリニューアルや付加価値サービスによる相乗効果も相まって、ゴルフ旅行の販売が順調に推移しました。

福利厚生事業では、ウェルビーイング関連メニューの提携や生活オンライン機能拡充、LINEやスマホアプリでの利用促進等で会員の利便性向上を図りました。

再生エネルギー事業では、グループゴルフ場3ヶ所における自家消費型のソーラーカーポート事業に向けた準備と、福島新規太陽光発電設備建設計画の準備を進めました。

投資再生事業では、販売用不動産として旧ゴルフ場敷地内に開発した福島石川太陽光発電所第二設備の信託受益権(40%)を売却しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間は、ホテルをはじめとする運営事業の売上高増加に加え、投資再生事業が収益に寄与したことにより、売上高は17,545百万円(前年同期比59.7%増)、営業利益は954百万円(前年同四半期は営業損失1,207百万円)、経常利益は890百万円(前年同四半期は経常損失1,071百万円)、親会社株主に帰属する四半期純利益は508百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失1,005百万円)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、38,382百万円となり、前連結会計年度末に比べて674百万円減少しております。これは主に現金及び預金が1,170百万円増加、販売用不動産が1,886百万円減少等によるものです。負債につきましては、24,473百万円となり、前連結会計年度末に比べて902百万円減少しております。これは主に、長期借入金が1,073百万円増加、1年内返済予定の長期借入金が506百万円減少及びその他(流動負債)が716百万円減少等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大が国内経済及び当社業績に与える影響に関しまして、合理的な算定が困難であったことから、連結業績予想および配当予想を未定としておりました。

このたび、引き続き不透明な要素が多い状況下ではありますが、新型コロナウイルスの感染拡大抑制と社会経済活動の両立が図られるようになり、当社グループを取り巻く環境にも回復の兆しが見えてきたことを踏まえ、通期の連結業績予想および配当予想を開示いたしました。

2023年3月期の連結業績予想および配当予想の詳細については、2023年2月10日に開示いたしました「2023年3月期通期連結業績予想および配当予想に関するお知らせ」をご参照ください。

今後において追加で業績予想や配当予想の修正が必要になった場合には速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,452,681	4,622,815
営業未収入金(純額)	1,098,443	1,241,717
商品	100,250	105,392
販売用不動産	4,571,767	2,685,196
貯蔵品	74,021	97,036
その他	1,377,037	1,298,600
流動資産合計	10,674,201	10,050,758
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,132,532	6,078,989
土地	13,514,523	13,621,041
その他(純額)	2,756,837	2,691,848
有形固定資産合計	22,403,892	22,391,879
無形固定資産		
のれん	448,339	385,457
その他	356,523	341,777
無形固定資産合計	804,863	727,235
投資その他の資産		
投資その他の資産合計	5,173,447	5,212,368
固定資産合計	28,382,203	28,331,483
資産合計	39,056,405	38,382,241

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
営業未払金	269,874	354,520
短期借入金	4,500,000	4,700,000
1年内返済予定の長期借入金	4,440,608	3,933,810
未払法人税等	721,307	67,699
賞与引当金	148,412	105,130
役員賞与引当金	11,000	-
その他	4,044,912	3,328,842
流動負債合計	14,136,114	12,490,002
固定負債		
長期借入金	6,611,196	7,684,585
退職給付に係る負債	447,422	445,548
従業員特別補償引当金	9,850	9,850
資産除去債務	398,553	201,995
預り保証金	2,109,568	2,011,368
その他	1,663,099	1,630,291
固定負債合計	11,239,690	11,983,639
負債合計	25,375,805	24,473,641
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,948,088	3,948,088
資本剰余金	2,663,333	2,664,544
利益剰余金	6,868,424	7,099,584
自己株式	△22,637	△21,304
株主資本合計	13,457,207	13,690,913
その他の包括利益累計額		
退職給付に係る調整累計額	266	322
その他の包括利益累計額合計	266	322
非支配株主持分	223,125	217,364
純資産合計	13,680,600	13,908,600
負債純資産合計	39,056,405	38,382,241

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	10,983,342	17,545,733
売上原価	4,010,717	7,398,101
売上総利益	6,972,624	10,147,632
販売費及び一般管理費	8,179,917	9,193,219
営業利益又は営業損失(△)	△1,207,292	954,412
営業外収益		
受取利息	15	20
受取賃貸料	7,621	6,446
受取保険金	3,093	69,011
還付金収入	8,565	6,035
雇用調整助成金	110,739	36,254
その他	220,414	57,278
営業外収益合計	350,449	175,045
営業外費用		
支払利息	124,077	117,306
支払手数料	34,695	70,393
その他	55,589	51,505
営業外費用合計	214,362	239,206
経常利益又は経常損失(△)	△1,071,205	890,252
特別利益		
固定資産売却益	398	18,191
従業員特別補償引当金戻入額	53,730	—
負ののれん発生益	473,896	—
その他	—	437
特別利益合計	528,024	18,629
特別損失		
固定資産売却損	—	577
固定資産除却損	365	5,829
新型コロナウイルス感染症による損失	214,269	—
その他	—	1,687
特別損失合計	214,634	8,094
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△757,814	900,786
法人税、住民税及び事業税	187,908	408,566
法人税等調整額	44,471	△12,920
法人税等合計	232,379	395,646
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△990,194	505,140
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	15,192	△3,761
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,005,386	508,901



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△990,194	505,140
その他の包括利益		
退職給付に係る調整額	1,142	56
その他の包括利益合計	1,142	56
四半期包括利益	△989,051	505,196
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,004,243	508,957
非支配株主に係る四半期包括利益	15,192	△3,761

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症拡大の影響)

当第3四半期連結累計期間において、前連結会計年度の有価証券報告書の(重要な会計上の見積り及び当該見積りに用いた仮定)に記載した新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する仮定について、重要な変更はありません。

(グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱いの適用)

当社及び一部の国内連結子会社は、第1四半期連結会計期間から、連結納税制度からグループ通算制度へ移行しております。これに伴い、法人税及び地方法人税並びに税効果会計の会計処理及び開示については、「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」(実務対応報告第42号 2021年8月12日。以下「実務対応報告第42号」という。)に従っております。また、実務対応報告第42号第32項(1)に基づき、実務対応報告第42号の適用に伴う会計方針の変更による影響はないものとみなしております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2021年4月1日 至2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント							調整額 (注①)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注②)
	ホテル 運営事業	ゴルフ 運営事業	リソルの森 (CCRC)事業	福利厚生 事業	再生 エネルギー 事業	投資再生事業	計		
売上高									
(1) 外部顧客への売上高	2,706,428	4,609,360	2,336,637	640,885	664,471	25,558	10,983,342	—	10,983,342
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	54,485	39,912	40,097	16,777	65	5,400	156,739	△156,739	—
計	2,760,913	4,649,273	2,376,735	657,663	664,536	30,958	11,140,081	△156,739	10,983,342
セグメント利益又は損失(△)	△1,402,205	640,718	167,360	35,534	34,522	241	△523,828	△547,377	△1,071,205

(注) ① セグメント利益又は損失(△)の調整額△547,377千円には、セグメント間取引消去△130,961千円及び各報告セグメントに配分していない全社損益△416,415千円が含まれております。全社損益は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び営業外損益であります。

② セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 収益認識の時期別に収益の分解情報を示す場合

(単位:千円)

	報告セグメント							調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	ホテル 運営事業	ゴルフ 運営事業	リソルの森 (CCRC)事業	福利厚生 事業	再生 エネルギー 事業	投資再生事業	計		
一時点で移転される財	2,706,428	4,552,603	2,326,887	72,467	664,471	17,103	10,339,961	—	10,339,961
一定の期間にわたり移転される財	—	56,757	9,750	568,418	—	8,455	643,381	—	643,381
顧客との契約から生じる収益	2,706,428	4,609,360	2,336,637	640,885	664,471	25,558	10,983,342	—	10,983,342
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	2,706,428	4,609,360	2,336,637	640,885	664,471	25,558	10,983,342	—	10,983,342

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自2022年4月1日 至2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント							調整額 (注①)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注②)
	ホテル 運営事業	ゴルフ 運営事業	リソルの森 (CCRC)事業	福利厚生 事業	再生 エネルギー 事業	投資再生事業	計		
売上高									
(1) 外部顧客への売上高	5,356,826	4,667,748	2,816,258	656,438	101,972	3,946,487	17,545,733	—	17,545,733
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	61,745	70,389	41,427	22,281	—	5,400	201,243	△201,243	—
計	5,418,572	4,738,138	2,857,686	678,720	101,972	3,951,887	17,746,977	△201,243	17,545,733
セグメント利益又は損失(△)	△940,015	654,961	311,268	△7,929	22,887	1,509,484	1,550,657	△660,404	890,252

(注) ① セグメント利益又は損失(△)の調整額△660,404千円には、セグメント間取引消去△166,957千円及び各報告セグメントに配分していない全社損益△493,447千円が含まれております。全社損益は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び営業外損益であります。

② セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 収益認識の時期別に収益の分解情報を示す場合

(単位:千円)

	報告セグメント							調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	ホテル 運営事業	ゴルフ 運営事業	リソルの森 (CCRC)事業	福利厚生 事業	再生 エネルギー 事業	投資再生事業	計		
一時点で移転される財	5,356,826	4,517,546	2,723,425	103,639	101,972	3,941,567	16,744,977	—	16,744,977
一定の期間にわたり移転される財	—	150,202	92,833	552,799	—	4,920	800,756	—	800,756
顧客との契約から生じる収益	5,356,826	4,667,748	2,816,258	656,438	101,972	3,946,487	17,545,733	—	17,545,733
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	5,356,826	4,667,748	2,816,258	656,438	101,972	3,946,487	17,545,733	—	17,545,733

4. 報告セグメントの変更等に関する事項

(セグメント区分の変更)

第1四半期連結会計期間から、報告セグメントを従来の「ホテル運営事業」の一部を「ゴルフ運営事業」に変更しております。なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分作成により作成したものを記載しております。